

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	世界貿易機関(WTO)事務拠出金(任意拠出金)	担当部局庁	経済局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成7年度開始	担当課室	国際貿易課	課長 齋田 伸一				
会計区分	一般会計	施策名	国際機関等を通じた経済・社会分野に係る国際貢献に必要な経費					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項, 外務省設置法第4条第2項 外務省設置法第4条第3項, WTO設立協定第7	関係する計画、通知等	WTOからの拠出要請					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	多角的貿易体制への統合を通じて途上国が貿易によるメリットを享受することを目的として、関税その他の貿易障害を実質的に軽減し、国際通商における差別待遇を廃止することによって、各国の経済成長、物品及びサービスの貿易の拡大、及び世界の資源の最適な利用に寄与すること							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ドーハ開発アジェンダ(ドーハ・ラウンド: DDA)において、WTO加盟国の5分の4を占める途上国の交渉の不足や投資や貿易円滑化などの新分野に関する理解不足が交渉促進の阻害要因の一つとなっているとの途上国の主張を踏まえ、途上国の交渉参加を促すことを目的として、先進国の任意拠出によるグローバル・トラスト・ファンドを創設。途上国に対してWTOの各協定や新分野に関する技術協力プログラム(寿府でのトレーニング、各地域におけるセミナーや各国への専門家派遣など)を実施している。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	48	44	35	34	35	
	執行額		48	44	35			
	執行率(%)		100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	途上国の加盟国の増加		成果実績	国	153	153	153	155
	加盟国数		達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	セミナー、ワークショップ開催件数		活動実績 (当初見込み)	件	220	236	251 (236)	— (251)
単位当たりコスト	138,697円	算出根拠	日本の拠出金(34,813,152円)／開催件数(251件)					
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	その他	33,627	34,814					
計	33,627	34,814						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当ファンドは、途上国に対してWTOの各協定や新分野に関する技術協力プログラム（寿府でのトレーニング、各地域におけるセミナーや各国への専門家派遣など）を実施しており、2010年は一般WTO関連技術支援及び訓練案件31件、専門分野及び先進分野技術支援及び訓練案件148件、訓練及び能力向上のための学術的支援案件42件、支援訓練及び技術支援設備案件7件、その他23件を実施し、DDAにおける交渉関連能力の強化に着実に貢献している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			